

ステップ通信

NO. 1

ピンチをチャンスに！

毎日家で過ごすようになって、「勉強どうすれば？」という保護者の皆さんの不安の声が届いています。たしかに、教科書を使っての学習は家庭では思うように進まないでしょう。

通級指導教室からそんな保護者の皆さんにどうしても伝えたいことがあります。

「学力」っていったいなんでしょう？

どうしても、テストでよい点を取れる人の学力が高いように思いがちですが、決してそうではないということをこの機会にもう一度見直してほしいのです。

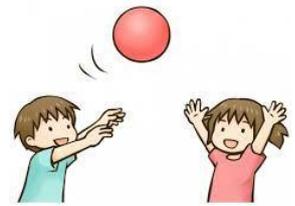
漢字がたくさん書けても、それを使う意味が分かっているなければ実際に使えません。

わり算の問題が解けても、実際の生活場面で使えなければ、分かったとは言えないのです。

お家で過ごす今だからこそ、家族みんなで楽しく経験をしながら、生きた力（学力）をつける絶好のチャンスです。

そんな、例を少しずつ紹介してみたいと思います。

ピンチの今を、お子さんの伸びるチャンスととらえて、少し肩の力を抜いて楽しんでみてください。楽しく遊んだことはずっと記憶に残るものですから…。



風船しりとり

ルールは簡単！風船をパスしながら、しりとりを回していただくだけです。風船を落とさないようにすることと、しりとりを考えるという二つのことを同時に行うことで脳を活性化します。（同時処理能力を高めます）

高学年になれば、「3文字」「食べ物（カテゴリーを決める）」など条件を付けると、案外難しくなります。

風船を相手が受けやすいようにパスしようとすることで、相手を意識する力や打つ力のコントロール力なども高めることができますよ。

〇〇博士をめざそう！

「やりなさい」と言われるとやる気がなくなるもの、でも、自分の好きなことならどんどん突き進めるものです。どんなことでもいいです。自分の大好きなことや物について、とことん調べてそれをノートに書いていきましょう。

絵が得意なら絵で、苦手なら写真や挿し絵をコピーしてはってもよし。調べて写している中で分からない言葉が出てきたら、それもさらに調べて…と、まさにこれこそ生きた学力です。大人にとって「こんなこと？」と思うことでも、子どもにとってはわくわくする宝の山☆熱中できること（もの）がある子は自信がつき、苦手なことにも挑戦できる！はず☆さあ、自分しかできない〇〇博士になってみんなに自慢しよう♡

